

委員会委員及び部会委員プロフィール

<委員会委員>

■委員長 岸井 隆幸



日本大学理工学部教授（専門：都市計画、交通計画等）

1975年東京大学工学部都市工学科卒業後、同大学院修士課程修了。77年建設省入省後、95年日本大学助教授などを経て、98年現職に就任。日本都市計画学会会長、東京都「景観審議会」会長、新国立競技場基本構想国際デザイン競技委員、渋谷駅まちづくり調整会議副座長、(独)都市再生機構「事業評価監視委員会」副委員長、熊本県「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」座長などを歴任。2010年日本都市計画学会「2009年年間優秀論文賞」などを受賞。
著書:「駐車場からのまちづくり:都市再生のために」など。

■委員

・安藤 忠雄



photo by 林景澤

建築家

世界各国を旅した後、独学で建築を学び、1969年安藤忠雄建築研究所を設立。2003年に東京大学名誉教授に就任。11年東日本震災復興構想会議議長代理を歴任。1979年「住吉の長屋」で日本建築学会賞、85年アルヴァ・アアルト賞、93年日本芸術院賞、95年プリツカー賞、2002年AIAゴールドメダル、10年文化勲章、13年フランス芸術文化勲章コマンドールなどを受賞。代表作:「光の教会」「フォートワース現代美術館」「ペンタ・デラ・ドガーナ」など。
著書:「建築を語る」「連戦連敗」「仕事をつくる」など。

中央大学理工学部教授、東京大学名誉教授

（専門：環境デザイン、都市環境計画等）

1972年東京大学農学部卒業後、ハーバード大学デザイン学部大学院、東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。慶應義塾大学環境情報学部、東京大学大学院工学系研究科の各教授などを経て、2013年現職に就任、同年東京大学名誉教授に就任。東京都「公園審議会」、横浜市「緑の審議会」の各委員、宮城県岩沼市震災復興会議議長などを歴任。08年土木学会デザイン賞最優秀賞「各務原(学びの森)」などを受賞。
著書:「都市と緑地」、「流域圏プランニングの時代」など。

・上田 宗箇



茶道上田宗箇流 家元

1968年慶應義塾大学経済学部卒業、72年戦国武将茶人上田宗箇が興した上田宗箇流家元若宗匠を継承、95年上田宗箇流家元を継承後、現在に至る。87年中国重慶市の日本庭園内茶室指導監修、88年広島市がドイツ・ハノーバー市に寄贈した茶室「洗心亭」の設計、同年広島国際会議場(丹下健三氏設計)内茶室設計監修、2003年賀茂鶴迎賓館を監修、08年日本で初となる主要国(G8)下院議長会議(議長サミット)が広島で開催時に茶のもてなしを行う。(社)青少年育成広島県民会議会長、(財)広島市文化財団理事などを歴任。
著書:「上田宗箇流茶の湯 入門編」、「日々ごゆだんなきょう」など。

・橋爪 紳也



大阪府立大学 21世紀科学研究機構教授・同大観光産業戦略研究所所長、大阪府・市特別顧問など（専門：建築史、観光政策論、都市文化論等）

1984年京都大学工学部建築学科卒業後、京都大学大学院工学研究科修士課程、大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。京都精華大学人文学部助教授、大阪市立大学大学院文学研究科・同大都市研究プラザ教授などを経て、現職に就任。国際日本文化研究センター客員教授、大阪府市「文化振興会議」会長、大阪府市「都市魅力戦略推進会議」会長、大阪市「都市計画審議会」副会長、京都市観光振興審議会会長などを兼職。
著書:「日本の塔 タワーの都市建築史」「『水都大阪』物語」「瀬戸内海モダニズム周遊」など。

・堀 繁



東京大学アジア生物資源研究センター教授（専門：景観工学、計画設計思想史等）

1976年東京大学農学部卒業後、環境庁自然保護局主査、東京大学農学部助手、東京工業大学社会工学科助教授などを経て、96年現職に就任。国土審議会、歴史的風土審議会、国会等移転審議会の各専門委員、埼玉県「景観審議会」会長、千葉県成田市「景観計画策定審議会」会長などを歴任。商店街・観光地等の集客地の活性化、街路・公園等公共施設の魅力づくりのアドバイザーとして活躍。
著書:「景観からの道づくり」など。

・本保 芳明



首都大学東京都市環境学部教授（専門：観光政策学等）、初代観光庁長官

1974年東京工業大学大学院理工学研究科修了。同年運輸省入省後、経済協力開発機構日本政府代表部勤務、建設省都市局都市再開発課長、運輸省運輸政策局観光部企画課長、日本郵政公社理事などを経て、国土交通省観光庁長官に就任。退職後、2010年より現職。2013年より世界観光倫理委員会委員。2014年1月観光庁参与、同11月東京工業大学特任教授に就任。

【主催者側委員】

眞野 勝弘 廿日市市長

<部会委員>

■部会長

橋爪 紳也

※委員会委員と兼務

■部会委員

・市川 篤紀



（五十音順・敬称略）

近畿大学工学部建築学科准教授（専門：建築設計、パッシブデザイン等）

1993年東京理科大学工学部建築学科卒業後、内井昭蔵建築設計事務所チーフデザイナー、東京理科大学工学部建築学科補手、近畿大学工学部建築学科講師などを経て、2012年現職に就任。日本建築学会「都市の水辺小委員会」主査などを歴任。研究テーマは「伝統的集落の空間構成」「パッシブデザイン」「水辺の社会実験」「古民家再生」など。

いまがわ あけみ
・今川 朱美



広島工業大学工学部都市デザイン工学科准教授（専門：都市地域計画等）

グラスゴー大学大学院建築学修士取得、京都大学大学院工学研究科修了環境地球工学専攻にて「環境共生地域づくりの理念分析とその計画化(2002年)」で博士(工学)取得、日本学術振興会特別研究員、広島工業大学工学部助教などを経て、2011年現職に就任。広島県景観アドバイザーなどを歴任。研究テーマは「持続可能社会と環境共生地域づくり」「美しいまち(都市デザイン)について」「愛されるまち(コミュニティー)について」など。

・フंक・カロリン 広島大学大学院総合科学研究科教授（専門：観光地理学等）



フライブルク大学で地理学と歴史学を修め、1987年愛媛県松山市に留学生として来日。松山大学、神戸学院大学、立命館大学等のドイツ語講師を務める。1998年にフライブルク大学博士課程修了、広島大学大学院総合科学研究科助教授を経て、2014年現職に就任。広島県「観光立県推進会議」委員などを歴任。現在の主なフィールドは瀬戸内海。研究テーマは「持続可能なツーリズム」「日本における観光開発」など。

【主催者側関係行政委員】

・石岡 輝久 広島県土木局都市技術審議官

・原田 忠明 廿日市市副市長